

平成29年「火災発生状況」

火災件数 19 件のうち、建物火災が 13 件で、5 人の方が亡くなり、5 人の方が負傷しています。火災で亡くなった 5 人の内 4 人は一人暮らしの高齢者の方です。

建物火災の出火原因として、煙突の火の粉や取灰の不始末による火災が 3 件、ゴミ焼きや枯れ草焼きなど火入れからの火災が 3 件発生しており、火の不始末や裸火の使用などが原因で火災になっています。

特に火入れによる火災は、目を離した隙に思わぬ速さで燃え広がるため、とても危険な行為です。

野焼きは原則禁止となっていますので、火入れ行為はやめましょう。

また、今年火災が例年を上回るペースで発生しています。

火の取り扱いには十分注意し、必ず火の元を点検する習慣をつけましょう。

地区別火災件数

区分 地区名	件数	火災発生場所						焼損棟数				死傷者	
		建物	うち 住宅 火災	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
両津	3	3	2					1	2	1	1		
相川	4	3	2				1	5		2	3	2	2
佐和田	1	1	1								1	1	
金井	3	1			1		1	2				1	
新穂	2	1					1		1				
畑野	0												
真野	5	3	3		1		1	2		2		1	3
羽茂	0												
小木	0												
赤泊	1	1	1					1					
合計	19	13	9	0	2	0	4	11	3	5	5	5	5

出火原因別

原因 種別	件数	ストーブ	たき火	火入れ	煙突・ 煙道	焼却炉	配線 器具	放火	取灰	その他	不明・ 調査中	死者	負傷者
建物	13	1	1	2	1		1	1	2	1	3	4	5
林野	0												
車両	2									1	1		
船舶	0												
その他	4			2		1				1		1	
合計	19	1	1	4	1	1	1	1	2	3	4	5	5

「住宅用火災警報器」はきちんと作動しますか！？

住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」という時に住宅用火災警報器がきちんと作動するよう、日ごろから作動確認とお手入れをしましょう。

また、センサー等の寿命により交換も必要です。10年を目安に交換してください。

消防本部予防課 予防係 ☎ 5 1 - 0 1 2 3